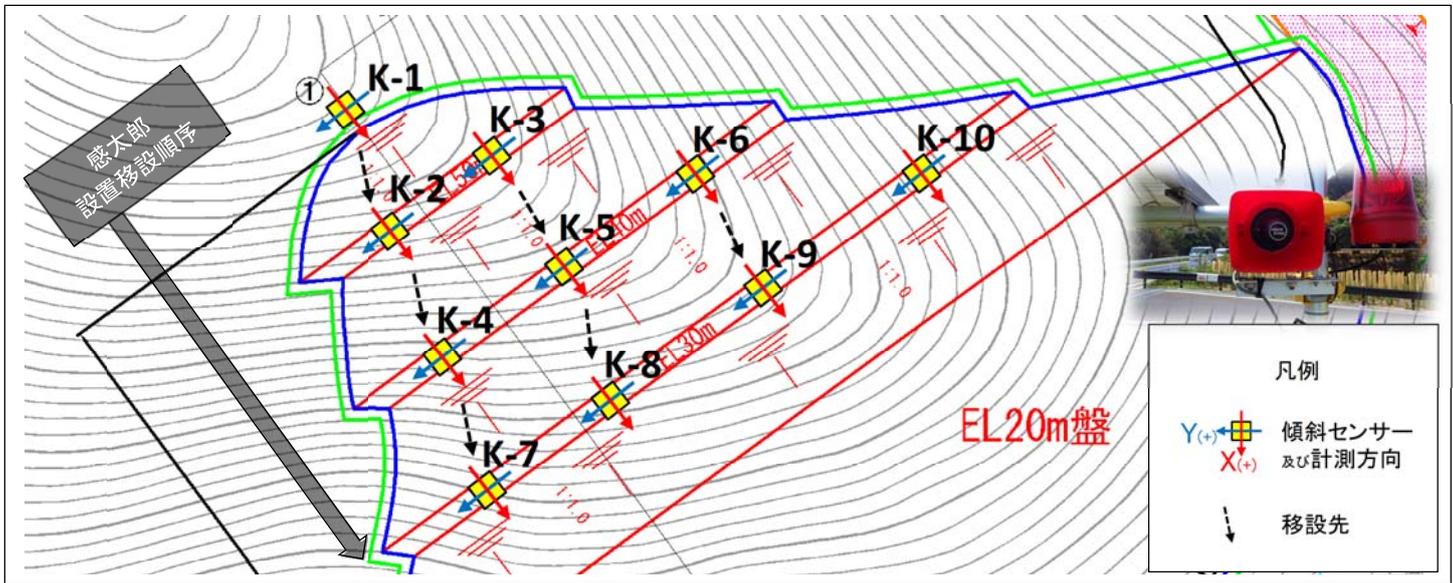


●施工時における切土法面の挙動監視



— Point —
◆限られた予算内での効率的な監視の実現

切土法面施工時にて、法面崩壊の予兆を事前に捉え、作業員の安全を確保することを目的として、斜面崩壊感知センサー「感太郎」を利用したリアルタイム自動監視を行いました。監視位置は、掘削中における各法面の小崩壊を想定し、各法面の小段法肩部に延べ10箇所設置しました。上方からの各法面を掘削後、法面の安定性を確認した上で、その都度感太郎を次の小段法肩部に移設しましたので、使用基数は10基ではなく4基となり、**出来る限り安価での監視というお客様のご要望にお応え致しました**。また、撤去・移設設置につきましても、弊社から事前に設置手順書を配布・説明することで、お客様ご自身による作業が実現し、**更なる安価での監視が実現しました**。このように、お客様の限られたご予算の中で、可能な限りお客様のニーズにお応え致します。



感太郎移設順序

計器	施工前	1 段目 法面 施工後	2 段目 法面 施工後	3 段目 法面 施工後	4 段目 法面 施工後
感太郎 ①	K-1 設置	K-2 設置	K-4 設置	K-7 設置	撤去
感太郎 ②	—	K-3 設置	K-5 設置	K-8 設置	撤去
感太郎 ③	—	—	K-6 設置	K-9 設置	撤去
感太郎 ④	—	—	—	K-10 設置	撤去

※青字は弊社、赤字はお客様が行いました



感太郎設置手順書

感太郎の設置手順

中央開発株式会社 防災モニタリング事業部
<http://www.ckcnet.co.jp>

【写真-2.1~2.2】
 ◆ 掘った穴にL型鋼を打ち込む。L型鋼はセンサー部を固定するためのもの。
 ◆ 根入れ長は、60~70cm程度。

P3